

# 事務事業評価シート

年度

4

## 1. 基本情報

事業番号	040201020002	事務事業名	生活交通システム事業
まちづくり目標	心地よい生活環境が保たれたまち	施策	活気のあるまちづくり
基本施策	安心して生活できる環境の整備	取り組み事項	公共交通の利便性向上を図る
部名	市民生活部	課名	地域振興課
事業の開始	平成25年度	終了年度	なし
実施の概要	路線バスのバス停が遠い方に対し、路線バスまでのタクシーを交通手段として、生活交通の維持・確保に努める。		
対象	市民、路線バス事業者、タクシー事業者		
目的	自宅と路線バスのバス停までの間をタクシーでつなぐことで路線バスの利用促進するとともに、交通弱者である高齢者等の買い物、通院のための交通手段を確保する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	地域公共交通総合連携計画		
根拠法令	法律・政令・省令・条例・規則・要綱 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 道路運送法		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.272	0.45	0.272	0.272	0.272
会計年度任用職員数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計		1,845,943	3,442,444	1,764,711	1,764,711	1,764,711
事業費計		1,589,600	6,495,974	1,750,000	1,660,000	1,660,000
フルコスト		3,435,543	9,938,418	3,514,711	3,424,711	3,424,711

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金		0	100,000	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0
市債		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
フルコスト－特定財源		3,435,543	9,838,418	3,514,711	3,424,711	3,424,711
事業費計－特定財源		1,589,600	6,395,974	1,750,000	1,660,000	1,660,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】デマンドタクシー延べ利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		700	700	700	700	700
単年度実績値		552	465			
前年比	-	-	84.23%	-	-	-
単年度達成率	-	78.85%	66.42%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	デマンドタクシーに係るフルコスト					
単位	円					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		4,907.9186	14,197.74	5,021.0157	4,892.4443	4,892.4443
単年度実績値		6,223.8098	21,372.9419			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	デマンドタクシーを実施している矢野、坪根地区では交通空白・困難地となっており市民の足を確保するひつようがある。	なし
有効性	B: 比較的有効である	利用されている方からは、生活していくうえで必要な制度であると意見を頂いている。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	燃料高騰によりタクシー代が増加が見込まれるとともに、利用にあたって制限もあるため、新しい制度を検討する必要がある。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	令和2年度にチケット制度を導入し、法令上適正な制度での運用としたが、新規利用者が増えない状況となっている。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	自治会役員会において制度説明を行っているとともに、民生委員の協力により事業啓発に努めている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	利用者においては、必要な生活交通となっており、今後免許返納の増加も予想されるため利用しやすい制度に見直しのうえ実施する必要がある。
休止・廃止となったときの影響	利用者の買い物支援や病院通院のためのサービスが必要となる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	デマンドタクシー未実施地区においても、生活交通の支援を必要とする声もあるため、制度の見直しを行うとともに対象区域拡大による費用問題について検討する必要がある。